

科目名	研究 4				
担当教員名	神保 雅人				
学部等	サービス創造学部	開講学期	2024年度秋学期		
ナンバリング	SI-SEM3001	学年	4年	単位	2単位
講義名	研究4B				
先修科目	研究4A				

この授業を通じて身につける<CUC 6つの能力要素>		(主として身につけるもの「◎」を1つ、身につけるもの「○」を2つ以内)			
専門的な知識・技能	◎	普遍的な知識・技能	○	相互理解・コミュニケーション力	○
チャレンジ精神・実践力	○	主体性・責任感	○	社会規範意識・誠実さ	○
CUC6つの能力要素詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html				

科目概要
研究2・研究3A・研究3B・研究4Aの学びを発展させ、各自が探究テーマを定め、そのテーマに基づいて調査、研究、実践活動等の成果を体系立てることで、より高度な専門知識を習得し、分析力・考察力を向上させる。
科目の到達目標
研究2・研究3A・研究3B・研究4Aの学びの成果をまとめる。
授業の特徴（指定科目のみ掲載）
上記の科目概要及び科目の到達目標に加え、本教員においては以下の内容を付記する。 研究4Bは、各自が大学での学びの集大成となる探究テーマを定め、そのテーマに基づいて調査、研究、実践活動等を行い、その結果を所定の成果物（論文、調査書、企画書、報告書等）として完成させるものである。

履修上の注意
この科目では、ノート型PCを利用する。
「研究4B」は「卒業研究」と一体のものとして扱い、所定の成果物(論文、調査書、企画書、報告書等)の提出が必須とされるので留意すること。特別な理由がない限り、毎回遅刻せずに出席すること。やむを得ず欠席する場合には授業担当者に事前に連絡すること。

実務経験を活かす授業		実務経験内容等	
------------	--	---------	--

ICTを活用する授業					
資料や課題を配信するためにWebシステムを活用する	○	教員と学生の連絡でCUC PORTAL等を活用する	○	その他	

データを活用する授業					
データ分析を行う		外部機関（企業等）のデータ活用する		その他	

アクティブ・ラーニングの要素					
グループワーク		プレゼンテーション	○	実習、実技、フィールドワーク	○
PBL（課題解決型学習）		双方向型学修（クリッカー等）		ディスカッション・ディベート	
反転授業		その他			

授業計画			
授業回	各回の概要	各回の事前事後学修	事前事後学修時間
第1回	論文の書き方(1) テーマ設定	事前：夏休み中に構想を練ったテーマについて考えをまとめておく。 事後：何に重点を置いて論文をまとめるかについて考える。	3.5時間
第2回	論文の書き方(2) 章立ての仕方	事前：参考資料に目を通しておく。 事後：章立て案を作成する。	3.5時間
第3回	論文の書き方(3) 参考文献の扱い方	事前：参考資料に目を通しておく。 事後：参考文献を集め始める。	3.5時間

第4回	論文の書き方(4) 要旨、『はじめに』及び『おわりに』の章の書き方	事前：参考資料に目を通しておく。 事後：実例を集める。	3.5時間
第5回	論文の作成(1) テーマ設定に関する報告、検討	事前：テーマ設定に関する概要をまとめる。 事後：検討で指摘された点についてまとめる。	3.5時間
第6回	論文の作成(2) 章立て案に関する報告、検討	事前：章立て案に関して、簡単な説明と素材リストとをまとめる。 事後：検討で指摘された点についてまとめる。	3.5時間
第7回	論文の作成(3) 執筆済みの原稿及び関連する参考文献に関する報告、検討(1)	事前：原稿の執筆を進める。 事後：検討で指摘された点についてまとめる。	3.5時間
第8回	論文の作成(4) 執筆済みの原稿及び関連する参考文献に関する報告、検討(2)	事前：原稿の執筆を進める。 事後：検討で指摘された点についてまとめる。	3.5時間
第9回	論文の作成(5) 執筆済みの原稿及び関連する参考文献に関する報告、検討(3)	事前：原稿の執筆を進める。 事後：検討で指摘された点についてまとめる。	3.5時間
第10回	論文の作成(6) 執筆済みの原稿及び関連する参考文献に関する報告、検討(4)	事前：原稿の執筆を進める。 事後：検討で指摘された点についてまとめる。	3.5時間
第11回	概要書の作成の仕方	事前：論文の要点を箇条書きにしておく。 事後：概要書に関するアドバイスをまとめる。	3.5時間
第12回	報告会用資料の作成	事前：プレゼンテーションについて構想を練る。 事後：報告会用資料について指摘された事項をまとめる。	3.5時間
第13回	報告会	事前：報告の練習をする。 事後：報告時に指摘された事項を確認してまとめる。	3.5時間
成績評価の方法	授業中の課題への取り組み(30%)、課題提出(60%)、報告会での発表(10%)		
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	授業内課題に対するフィードバックは、授業内で直接コメントをすることで行う。		
テキスト・教科書	特になし		
参考文献	特になし		